

地球観測データ利用ビジネスコミュニティ 第9回（平成30年度）通常総会

議事次第

日時：平成30年5月31日（木）16:00～17:30

場所：リモート・センシング技術センター

1. 総会成立確認

2. 議長選出

3. 議案審議

3.1 [1号議案] 活動報告

3.2 [2号議案] 会計報告

3.3 [3号議案] 監査報告

3.4 [4号議案] 会員増減報告

3.5 [5号議案] 規約変更

3.6 [6号議案] 幹事選出

3.7 [7号議案] 平成30年度活動計画

3.8 [8号議案] 平成30年度予算

4. その他

平成29年度の活動結果を以下にご報告いたします。

■関係部門との調整・連携、対外活動について

・内閣府宇宙開発戦略推進事務局

宇宙産業ビジョン2030の公開に際し、6月に会員各社から意見をいただき、BizEarthとしてパブリックコメントを内閣府に提出した(16か所について意見を提出)。

また、実利用事例の整理として過去の業務案件や社会実証について取りまとめ、5月に宇宙戦略事務局へ提出し、意見交換を行った。本件は、宇宙戦略事務局からの依頼もあり、引き続き本年度の活動とする。

・S-NET

BizEarthとしての参加は見送り、会員各社独自での判断にゆだねることとした。

・リモセンTF会合

7月に日本学術会議において、「我が国の衛星地球観測計画」シンポジウムを開催、TFリモートセンシング分科会実利用連絡会として、資料提供し六川先生より講演。

当連絡会から資料を提供し、分科会として「地球観測グラウンドデザイン」を取りまとめ、2018年1月にTF全体会合を開催。岩崎先生より「実利用から見た我が国の地球観測」と題し発表を行った。

・JAXA

2016年度の協議を実施したJAXAの新事業計画(案)について、先方からの連絡待ちとなり1年経過。

第1号議案 活動報告

BizEarth
<http://remosen.jp>

・JSS

BizEarthとして宇宙ビジネスコートに参加することとし、Webコンテンツやロゴを提供した。

・リモートセンシング学会

リモートセンシング学会がJAXAから受託して作成した「リモセンデータカタログ」について、若手WGのメンバーが積極的に関与した。

・総務省

前年度の引き続き、宇宙×ICTに関する懇談会にBizEarthとして参加した。リモセンは第2回懇談会でテーマとなったが、総務省としては、従来型のリモートセンシング（データ取得・画像解析・提供）から、新たな産業として「衛星データのオープン化、ビッグデータ利用、新たなサービスの展開、海外との連携」について、具体事例を含め協議された。

8月に最終取り纏めが行われ、報告書が完成。2018年度は、名称を変更し「「宇宙利用の将来像に関する懇話会」を継続開催予定で、委員として出席。

・日本ドローンコンソーシアム

日本ドローンコンソーシアム主催、リモセン学会・BizEarth共催で「ドローン×リモセン」シンポジウムを10月27日に学士会館において開催。

BizEarthからは、BizEarthの紹介を幹事代表から実施、また幹事のESRIジャパンから高解像度オルソ生成とセンシング利用と称し事例を発表。パネルディスカッション参加も含め「ドローン関係者とリモセン関係者」が活発に意見交換をした。

■勉強会の実施について

テーマ：政府宇宙戦略・工程表改定に向けた意見交換・提案創出

開催日：平成29年10月20日

開催場所：一般財団法人リモート・センシング技術センター コンファレンスルーム

開催形式：ワークショップ形式とする

議題

- 1 政府宇宙基本計画、宇宙産業ビジョン2030、工程表改定・宇宙政策委員会中間とりまとめ概要報告
- 2 過去からのBizEarthの提言報告（リモセンTF会合、宇宙産業ビジョンへのパブコメ等）
- 3 工程表改定に向けた「宇宙利用産業の産業振興策」について、事務局案説明及び参加メンバー全員での討議
- 4 全体とりまとめ

実施結果

11機関から、合計21名の参加を得て、宇宙利用産業の拡大に向けて、政府アンカーテナントの提案を始め、民間投資や各種支援策の提案、社会実証枠の拡充、海外展開施策、各省庁単位での社会実証やビッグデータ活用について協議を実施。活発な意見交換ができた。

最終的な取りまとめを、その後幹事会で行い、BizEarthからの「宇宙基本計画工程表改定に係る意見」として取りまとめ、リモセンTF会合で発表、意見交換を実施したうえで、宇宙政策委員会向けへの（東大中須賀先生）提言とした。

雑感

近年、勉強会は講演会に近い発表も多かったことから、ワークショップ形式での勉強会も、重要なテーマ設定が出来れば有用である。

■作業部会の実施について

・地域連携作業部会

平成29年度、新たに発足した「地域連携作業部会」について、部会を開催し、福井県と福島県を対象に連携を模索することが決まった。その後、12月8日に福井県民衛星技術研究組合と意見交換を実施し、今後の連携の可能性について、意見交換した。福島県との意見交換については、調整中の状況である。

・海外ビジネス情報作業部会

海外作業部会としては、本年度は実質的な活動が少なく、作業部会の過去の活動を総括し、今後何を目指すべきか再度議論した。その結果、作業部会員全員が参加することを前提とし、以下の2テーマを次年度以降改めて作業部会の活動として行う計画を作成した。

- 1.BizEarth全会員に対する海外情報発信
- 2.部会員メンバー企業が共同で提案する/できる内容の確認および案件形成の検討

■作業部会の実施について

・若手作業部会

平成29年度は、昨年度に引き続き若手作業部会メンバーを対象とした勉強会を7月24日(月)に開催した。今年度「宇宙ベンチャー企業 アクセルスペースの挑戦」と題し、株式会社アクセルスペース 事業開発・営業グループ長 池田義太郎 様を訪問の上、同社の超小型衛星ビジネスや衛星データ利用ビジネスに関する取り組みについて話を伺った。またその後、9月5日(火)には「フランツクラブ 新丸ビル店」にて懇親会を開催し、今後の活動方針についての話し合いやメンバー間での自己紹介、親睦を図った。

その他、若手作業部会有志が集まり、リモセン学会受託委員会がJAXA新事業促進部より受託した「リモートセンシングデータカタログの更新及び展示会におけるリーフレット・パネルの作成業務」に参画した。昨年度の受託で作成したリモートセンシングデータカタログについて関係各所から意見収集を行った上でカタログの修正と改善案の提案を行った。また10月3日から6日に幕張メッセで開催された「CEATEC JAPAN 2017」においてJAXAがカタログを紹介する出展を行うにあたり、リーフレット・パネルデザインの作成や当日の来場者対応支援を行った。



勉強会の様子(2017/7/24)



懇親会の様子(2017/9/5)



CEATEC出展支援(2017/10/3-6)

第1号議案 活動報告

BizEarth
<http://remosen.jp>

■広報活動について

(1) 宇宙カタログ

宇宙カタログの改訂を行い、第3版として2017年11月15日にBizEarth webサイトより公開した。

2017年8月～9月に会員企業に新規追加・更新の希望を募り、希望があった2社について資料提示を受け更新を行った。

掲載企業数10社。

(2) 会員獲得活動

会員の獲得を目指して会員獲得活動を行った。会員の増減については、4号議案「会員増減報告」にて報告する。

(3) 展示会への出展

GISコミュニティーフォーラムの農業セッションでBizEarthの紹介をした。

(前述)日本ドローンコンソーシアム主催、リモセン学会・BizEarth共催で行われた「ドローン×リモセン」シンポジウム(10月27日)に参加し、BizEarthの紹介および講演を行った。

■講演会の実施について

テーマ:「地球観測データのオープン＆フリーへの展望」

日時等:平成30年2月13日(木)14:30～17:45 一般財団法人リモート・センシング技術センターにて開催

基調講演(敬称略)

- ビッグデータ時代の新たな衛星データ利用
経済産業省製造産業局 宇宙産業室長 霧田 将範

特集講演(敬称略)

- 「宇宙ビジネスの新潮流－北米における衛星データ利用の最前線－」
A.T.カーニー プリンシパル 石田真康
- 「欧州Copernicus戦略におけるオープン＆フリーと企業活動の実践」
日欧産業協力センター 事務局次長 フアブリツツィオ・ムラ(代理:角谷洋子)
- 「クラウドコンピューティングを活用したビッグデータプラットフォームのご紹介」
さくらインターネット株式会社 公共ユニット担当部長 鈴木仁志
- 「組織を超えた情報共有を実現する衛星データプラットフォームの先進事例」
ESRIジャパン株式会社 プラットフォームソリューションG 櫻井 洋祐
- 「統合型地圈流体シミュレータ「GETFLOWS」とオープン国土水循環モデル」
株式会社地圏環境テクノロジー 営業推進部長 青木 純一

パネルディスカッション

実施結果:

講演者6名を含む、57名(内、会員37名、一般参加20名)の参加を得て、講演およびパネルディスカッションにおいて活発な質疑応答、討議が行われた。

■幹事会・情報公開について

- ・幹事会は年度初めに年間の開催スケジュールと主な議題を設定し、2か月に1回開催した。
(平成29年6月、8月、10月(11月10日に延期)、12月、平成30年2月、4月の計6回)
- ・議事録を作成し会員に公開(配信)したが、webサイトの不具合などにより大幅に公開が遅れたことがあった。
- ・webサイトは一般の方々へ向けて衛星データの活用事例、定期公演会の案内等を発信するとともに、会員向けに幹事会議事録、勉強会その他の資料等を提供する場であったが、年度途中から不具合が発生したため更新作業ができなかった。
- ・現在は改訂作業が完了し、正常に動作している。

■その他

- ・webサイトの改訂に着手した。平成30年度4月で概ね完了。<http://www.remosen.jp/>

第1号議案 活動報告 年間活動計画との関係

BizEarth
<http://remosen.jp>

2017年5月～2018年4月活動報告							
<具体的な活動>							
No	項目	主担当	2017年5-6月	7-9月	10-12月	1-4月	備考
1	主要イベント		★5月：通常総会 ▲5月～7月：提案		フォロー		
2	関係部門との連携・調整	幹事会	宇宙・リモセンコミュニティとの情報交換、ビジネス連携 他コミュニティとの調整会など		パブコメ実施 他コミュニティと連携		・宇宙開発戦略推進事務局 ・S-NET・総務省(宇宙×ICT) ・リモセン学会 ・JAXA新事業促進部
3	企画・提案活動	企画部会					
3-1	提案・TF対応	伊東企画部会長	▲計画検討	TF会合： 実利用連絡会に参加	フォロー	総務省： 宇宙×ICTに関する懇談会	・タスクフォース会合(TF)
3-2	勉強会	新井幹事	検討会・勉強会開催(勉強会1回) ▲計画検討	▲勉強会：利用産業拡充 ワークショップ			・リモセンポリシー ・産業ビジョン等
4	作業部会活動						
4-1	地域連携作業部会	土肥座長／伊東副座長		▲自治体意見交換	ビジネスモデル検討		
4-2	海外ビジネス情報作業部会	葛岡座長／新井副座長				▲年度総括・次年度計画	
4-3	若手作業部会	七森座長／井上副座長	▲計画検討	▲勉強会開催 活発な活動 RSSJ活動(リモートセンシングデータカタログ)	懇親会		・勉強会(宇宙ベンチャー関係者招聘) ・メンバー間懇親会 ・RSSJ活動への参画(リモートセンシングデータカタログ)
4-4	FY28作業部会：順次立ち上げ	会員会社 (会員希望を受け所定手続きにて立上)	▲適宜立上げ…				公募案件向け共同提案活動の実施時：幹事会承認を得て作業部会の立て上げ活動可能。
5	広報活動	幹事会	▲計画検討／企画	カンファレンス参加 宇宙カタログ改訂 改訂原稿募集	▲第3版公開 改訂		・展示会出展 ・会員獲得活動 ・宇宙カタログ改訂
6	リモートセンシングMOT人材の育成支援	全社 (幹事会まとめ)		▲作業検討／企画			
7	定期講演会開催	幹事会		▲準備		▲2月：講演会	定期講演会： 衛星データオープン＆フリー
8	幹事会	幹事会／監事・事務局	原則偶数月第2火曜(6/16、8/8、10/10、12/12、2/13、4/10)	▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲	▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲		▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲
9	情報公開(ホームページ)	事務局／委託会社	適宜実施	随時公開	HPの改訂に着手・ほぼ完了		ホームページの改訂を行う。

[第2号議案]平成29年度会計報告

収入の部

※税込金額[単位:円]

項目	今年度予算	実績	増減	摘要
繰越金	950,154	950,154	0	平成28年度繰越金
年会費	510,000	510,000	0	@30,000円/年・社×17社
合計	1,460,154	1,460,154	0	

▲: 収入減

支出の部

※税込金額[単位:円]

項目	今年度予算	実績	残高	摘要
作業部会活動費	250,000	34,864	215,136	若手WG 講師謝金他
作業部会活動予備費	100,000	0	100,000	
交通費	100,000	69,180	30,820	(総会、勉強会、講演会)会長交通費
定期講演会費	150,000	90,000	60,000	講演会講師謝礼 30,000円×3名×1回
勉強会運営費	90,000	0	90,000	
会議運営費	60,000	41,943	18,057	講演会貸し椅子50脚
広告・広報費	100,000	50,000	50,000	ドローンコンソーシアム共催費
webサイト維持・改訂・管理費	500,000	534,901	▲ 34,901	H28.06～H29.05(12箇月間)、ドメイン維持費を含む web改訂費 507,000円
雑費	15,000	0	15,000	
印刷費(コピー代等)	30,000	0	30,000	
通信・輸送費	5,000	1,763	3,237	
振込手数料	3,000	0	3,000	
合計	1,403,000	822,651	580,349	

収入合計 1,460,154円

支出合計 1,403,000円

次年度繰越金 57,154円

1,460,154円 822,651円

57,154円 637,503円

平成30年 5月 9 日

以上のとおり、間違ひありません。

地球観測データ利用ビジネスコミュニティ事務局

藤川真治

藤川
印

藤川真治

平成30年 5月 9 日

監査の結果、上記会計報告の内容を真実と認める。

地球観測データ利用ビジネスコミュニティ 監査役

高橋康夫

高橋
印

平成30年5月9日

地球観測データ利用ビジネスコミュニティ
会長 山口 靖 殿

地球観測データ利用ビジネスコミュニティ
監事 高橋 康夫

監査報告書

平成29年5月1日から平成30年4月30日までの平成29年度における業務執行
に関して本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法

幹事会出席による実査並びに、事務局から提出のあった資料、会計報告について確認し、必要に応じ説明を求めました。以上のことにより当該事業年度における業務執行について監査いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ア 幹事の執務執行について、規約に違反する事実は認められません。
- イ 事業報告の内容は、本コミュニティ活動の状況を正しく示しているものと認めます。

(2) 計算書類及び付属明細書の監査結果

- ア 計算書類及び付属明細書は当コミュニティの収支の状況を適正に示しているものと認めます。

以上のように平成29年度における主要業務は、地球観測データ利用ビジネスコミュニティ規約に基づき、適正かつ妥当に執行されていることを認めます。

以上

高橋康夫


[第4号議案] 会員の増減

平成29年度の会員の動きは以下のとおりである。(敬称略)

入会

正会員 0 団体

オブザーバ会員 0 団体

退会

正会員 2 団体

株式会社インフォサーブ

三菱スペース・ソフトウェア株式会社

オブザーバ会員 0 团体

現在会員数

正会員 15 団体

オブザーバ会員 1 団体

以上

第5号議案 規約変更

当会の規約を以下のように変更する。

No.	現行規約	変更案	変更理由
1	地球観測データ利用ビジネスコミュニティ 規約 (平成26年5月版)	地球観測データ利用ビジネスコミュニティ 規約 (平成30年5月版)	変更時期に合わせる。
2	第4条 (活動) 本コミュニティは、第2条の目的を達成するために、次の活動を行う。 ・・・ 4. リモートセンシング MOT人材（プロジェクトトサイエンティスト）育成への貢献	第4条 (活動) 本コミュニティは、第2条の目的を達成するために、次の活動を行う。 ・・・ 4. リモートセンシング 人材育成への貢献	MOTに限定せず、様々な形でリモートセンシングに関わる人材の育成を目指すべきとの考えに基づく。
3	細則2 ・・・ (1) 会員… ①正会員… ・ 東京での部会活動が可能な衛星データ付加価値情報サービス(ソフトウェア並びに応用手法も含む)事業を志向する法人格を有する企業とする。	細則2 ・・・ (1) 会員… ①正会員… ・ 衛星データ付加価値情報サービス(ソフトウェア並びに応用手法も含む)事業を志向する法人格を有する企業とする。	地域連携作業部会の方針、活動結果に基づく。

* 変更後の規約を次ページ以降に掲載

以上

第1条 (名称)	本コミュニティは、地球観測データ利用ビジネスコミュニティと称する。
第2条 (目的)	<p>現在入手可能な国内・海外の衛星データを活用したソリューションビジネスの発展・利用推進に貢献する事を目的とする。</p> <p>この為、衛星データ付加価値情報サービス(ソフトウェア並びに応用手法も含む)事業を志向する企業と地球観測データ利用に関連する国、自治体、独立行政法人等が集い、地球観測データユーザーのニーズの収集を行う。その上で、地球観測データ利用ビジネス促進のための要望をとりまとめて国に提案を行う。また並行して、一般の方が成功事例を容易に理解できる様にビジネスモデルの検討等を実施する。また、その成果物を本コミュニティ会員に提供していく。</p>
第3条 (所在地)	本コミュニティを、事務局の所在地に置く。
第4条 (活動)	<p>本コミュニティは、第2条の目的を達成するために、次の活動を行う。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 地球観測データ利用ビジネス促進の為の要望まとめ並びに提案2. 衛星データ利用の成功事例の収集3. ビジネスマネジメントモデルの検討と会員への提供4. リモートセンシング人材育成への貢献
第5条 (会員)	本コミュニティは、第2条に掲げる目的に賛同する会員(NPO 等の団体を含む)をもって組織する。(細則2)
第6条 (入会)	<ol style="list-style-type: none">1. 本コミュニティに参加を希望するものは、別途定める入会申込書により入会希望の手続きをとるものとする。2. 新たに加入を希望する者は幹事会の決議によって承認決定される。
第7条 (収入)	<p>コミュニティの経費は、入会金(3万円)、年会費(3万円)、一時金及びその他の収入をもってあてる。(細則2)</p> <p>尚、年会費等の変更は総会承認により変更可能なものとする。</p>
第8条 (退会)	<ol style="list-style-type: none">1. コミュニティから退会する場合は、その旨遅滞なく書面にて事務局に連絡する。2. 退会する場合は、支払った入会金、年会費は返済されない。
第9条 (守秘義務)	<ol style="list-style-type: none">1. 会員は事務局から守秘の指定があった資料、情報を事務局の了解なしに第三者に開示、漏洩してはならない。2. 退会後も前項を遵守するものとする。
第10条 (役員)	<p>本コミュニティには以下の役員をおく。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 会長(1名)、監事(1名)2. 会長は本コミュニティを代表し、会務を統括する。3. 監事は、会計監査等、コミュニティ活動全般に関わる監査を行う。4. 役員の任期は特に定めない。ただし総会の決定により、変更可能とする。
第11条 (総会)	<ol style="list-style-type: none">1. 総会は、会員(正会員)をもって構成する。2. 通常総会は年 1 回会長がこれを招集し、会長は、その議長となる。ただし、会長が必要と認めるときは、臨時に総会を召集することができる。3. 総会は、会員(正会員)会社の過半数の出席をもって成立するものとす

る。ただし、会員が総会に委任状を提出した場合には、その数を出席者にくわえることができる。

4. 総会の議決は、議決権を有する出席者の過半数で決し、可否同数のときは 議長の決するところによる。
5. 総会に付議する事項は、次のとおりとする。
 - (1) 予算の議決及び決算の認定。
 - (2) 事業計画及び事業報告の承認。
 - (3) 規約の変更。
 - (4) その他会長が重要と認める事項。

**第12条
(幹事会)**

1. コミュニティに幹事会を置く。
2. 幹事会社は6社以内とし会員(正会員)の互選により選出する。
3. 幹事会社の任期は、2年とし再任を妨げない。
4. 幹事会社が欠けた場合における補欠幹事会社の任期は残任期間とする。
5. 幹事会は、必要に応じ相互に召集する。
6. 幹事会は、幹事会社の過半数の出席をもって成立するものとし、出席者の過半数で決する。尚、幹事會議事録を作成し事務局経由で正会員へ送付を行うものとする。
7. 幹事会に付議する事項は、次のとおりとする。
 - (1) 総会の議決した事項の執行に関すること
 - (2) 総会に付議すべき事項の審議
 - (3) 会員の入退会に関する事項
 - (4) 総会の招集に関する事項
 - (5) 総会、幹事会の開催、運営に関する事項
 - (6) 総会、幹事会の議事録の作成に関する事項
 - (7) コミュニティの広報・宣伝ならびに、社外発表資料の承認に関する事項
 - (8) ホームページの運営に関する事項
 - (9) 会長から指示ある事項
 - (10) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項。

**第13条
(事務局)**

1. コミュニティの会務を処理するため、事務局をジオテクノス株式会社(住所:東京都墨田区押上一丁目1番2号東京スカイツリーイーストタワー14階)内に置く。
2. 事務局には、事務局員を置き、コミュニティの運営に係わる事務を行う。
3. 事務局の組織及び運営について必要な事項は、幹事会の議決を経て別に定める。(細則1)

**第14条
(活動部会)**

幹事会の元に、活動部会として、企画部会並びにテーマ毎の作業部会を設置する。尚、作業部会は会員の発議を受け、幹事会の承認を得て、新設・解散が可能なものとする。

作業部会は、作業部会名でコミュニティ外への発表並びに部会内予算管理を行うこととしタイムリーな活動を行うものとする。尚、各作業部会は座長を選任し、座長は上記作業部会全般管理を行う。コミュニティ外への発表については、幹事会の事前承認を必要とする。

また、活動部会には、幹事会社の参加を必須とする。

総会、幹事会での議事については議事録、出席者リストを作成し、議長が署名を行う。

**第15条
(議事)**

第16条 (経費支出)	総会、幹事会運営、第4条に規定した活動に必要な経費は会費から支出す。総会、講演会等の際に会費制で行なう懇親会における過不足金の調整は年度予算の範囲で経費から支払い可能とする。ただし、会員、幹事会社、役員、事務局員については無報酬とする。
第17条 (会計報告)	会計年度を5月1日から翌年4月末とし、年1回、会計報告を行う。
第18条 (著作権)	<ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニティ名にて作成される資料、報告書の著作権は、特段の取り決めが無い限り、当コミュニティに属する。 2. 会員はコミュニティ名にて提供される資料、報告書を事務局からの制限の指定が無い限り、自らの業務に利用することができる。
第19条 (解散)	コミュニティは総会の決議により解散することができる。 その際、未だ支出されていない資金は企業会員にその支払い金額に応じ均等に返却する。

付則1

(規約効力の発生) 本規約は本コミュニティの成立した、2010年3月2日より施行する。

細則1

事務局の業務は次の通りとする

1. 会員からの年度会費の徴収に関する事項
2. 活動費用の支出、費用管理に関する事項
3. その他コミュニティの運営に必要な庶務事項
4. 事務局は、役員・幹事経験者に本コミュニティの活動支援を求めることができる。予め幹事会の承認を得て、出張等の活動依頼及びその経費(交通費、宿泊費等)を実費支給することができる。

細則2

会員の区分について

会員の区分は以下の通りとする。

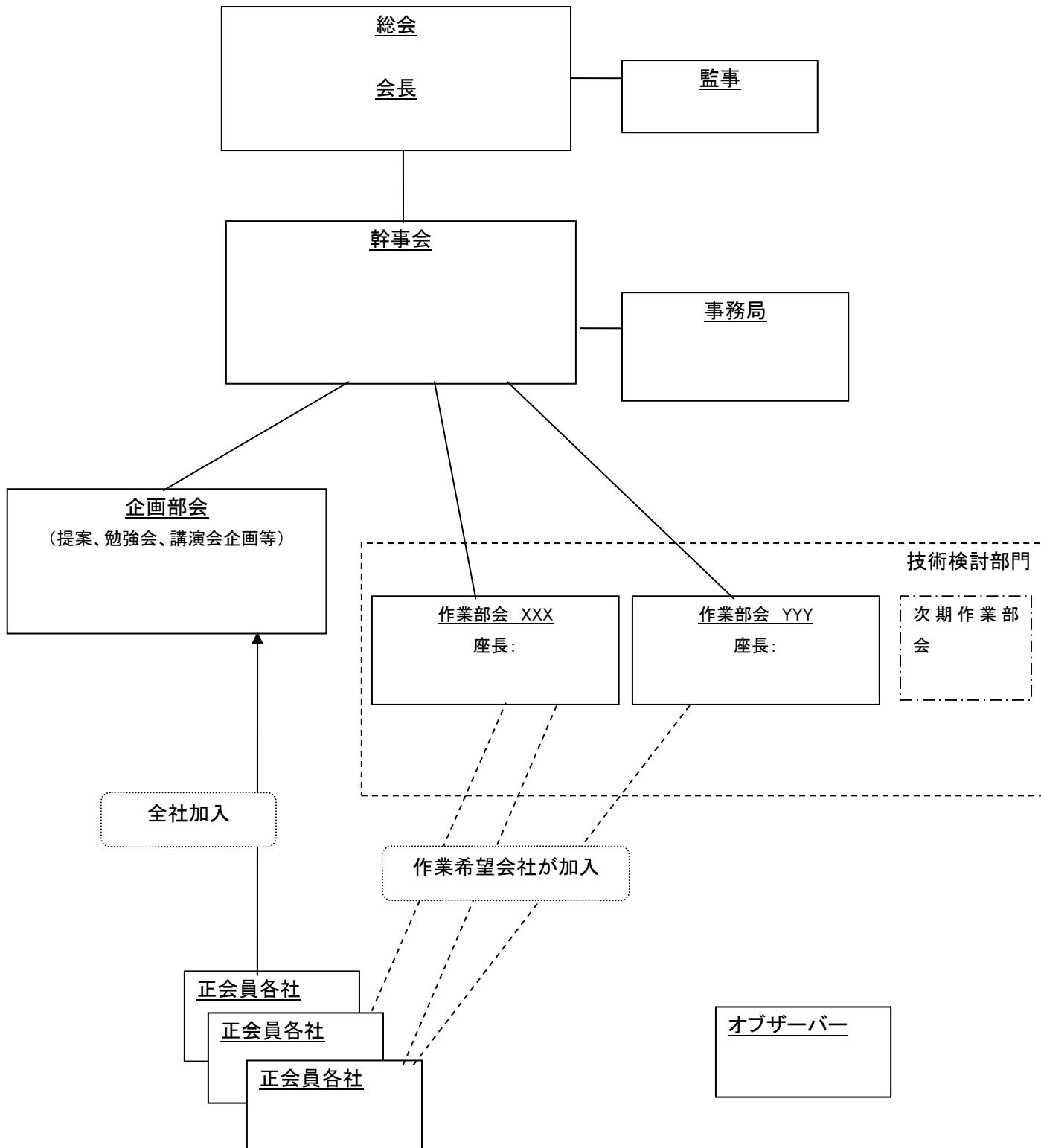
(1)会員

- ①正会員 入会金 3万円、 年会費 3万円(ただし次年度から徴収する)
 - ・ 衛星データ付加価値情報サービス(ソフトウェア並びに応用手法も含む)事業を志向する法人格を有する企業とする。
 - ・ 企画部会の主催する各種会議等に出席し意見を述べることができCommunity活動に参画することができる。
 - ・ 希望すれば、幹事会承認を得て、各種作業分科会で活動を行うことができる。尚、この場合は参加各社は情報発信を行うことを基本とし、参加会社に限り情報共有可能とする。参加会社の総意により開示する事が出来る。
- ②オブザーバ会員 入会金 なし 年会費 なしとする
 - ・ 衛星データ利用に関わる国、自治体、独立行政法人、社団法人または財団法人とする。
 - ・ 総会、定期講演会に参加できるものとする。

細則3

本Communityの組織図を次ページに示す。

地球観測データ利用ビジネスコミュニティ 組織図



細則4

内規について

幹事会承認を得て、内規を制定できる。幹事会は、制定後に会員に通知する。

第 6 号議案 幹事等選出（案）

幹事等選出

1. 会長は、名古屋大学 山口靖教授に再任頂く。
2. 平成 29 年度の幹事は、下記の①～⑥の 6 社で構成しており、②～⑥は規約第 12 条 3 項「幹事会社の任期は 2 年とし、再任を妨げない。」により、来年 5 月まで継続して幹事を担う。

【平成 29 年度幹事会社】

- ① 国際航業株式会社（2 年目）
- ② 一般財団法人リモート・センシング技術センター（1 年目）
- ③ 宇宙技術開発株式会社（1 年目）
- ④ 富士通株式会社（1 年目）
- ⑤ 株式会社サテライト・ビジネス・ネットワーク（1 年目）
- ⑥ ESRI ジャパン株式会社（1 年目）

平成 30 年度で 2 年の任期を満了する幹事会社が 1 社ある事から、幹事会社の自薦他薦の案内を 4 月 12 日に送付した結果、以下の 6 社から連絡を頂いた。その結果、平成 30 年度の幹事会社の候補を以下の通りとする。

【平成 30 年度幹事会社】

- ⑦ 国際航業株式会社（1 年目）
- ⑧ 一般財団法人リモート・センシング技術センター（2 年目）
- ⑨ 宇宙技術開発株式会社（2 年目）
- ⑩ 富士通株式会社（2 年目）
- ⑪ 株式会社サテライト・ビジネス・ネットワーク（2 年目）
- ⑫ ESRI ジャパン株式会社（2 年目）

- ① 監事は、三井物産セキュアディレクション株式会社高橋監事に再任頂ぐ。

以上

[第7号議案]

2018年5月～2019年4月活動計画

<具体的な活動>

No	項目	主担当	2018年5-6月	7-9月	10-12月	1-4月	備考
1	主要イベント		★5月：通常総会 ▲5月～7月：提案		フォロー		
2	関係部門との連携・調整	幹事会	宇宙・リモセンコミュニティとの情報交換、ビジネス連携 他中ミニュニティとの調整会など				・宇宙開発戦略推進事務局 ・S-NET・総務省(宇宙×ICT) ・リモセン学会 ・JAXA
3	企画・提案活動	企画部会					
3-1	提案・TF対応	伊東企画部会長	▲計画検討		フォロー		・タスクフォース会合(TF)
3-2	勉強会	新井幹事	検討会・勉強会開催(勉強会1回) ▲計画検討	▲勉強会			・リモセンポリシー ・産業ビジョン等
4	作業部会活動						
4-1	地域連携作業部会	土肥座長／伊東副座長		▲自治体意見交換	▲自治体意見交換	ビジネスモデル検討	
4-2	海外ビジネス情報作業部会	葛岡座長／新井副座長		▲ニュースレター発行	▲ニュースレター発行		・共同提案に向けての検討
4-3	若手作業部会	七森座長／井上副座長	▲計画検討	▲勉強会開催 RSSJ活動(リモートセンシングデータカタログ)	▲メンバー間懇親会		・勉強会(宇宙ベンチャー関係者招聘) ・メンバー間懇親会 ・RSSJ活動への参画(リモートセンシングデータカタログ)
4-4	FY30作業部会：順次立ち上げ	会員会社 (会員希望を受け所定手続きにて立上)	▲適宜立上げ…				公募案件向け共同提案活動の実施時：幹事会承認を得て作業部会の立上げ活動可能。
5	広報活動	幹事会	▲計画検討／企画	宇宙カタログ改訂 改訂原稿募集	▲第3版公開 改訂		・展示会出展 ・会員獲得活動 ・宇宙カタログ改訂
6	リモートセンシング人材の育成支援	全社 (幹事会まとめ)		▲作業検討／企画			
7	定期講演会開催	幹事会		▲準備		▲2月：講演会	
8	幹事会	幹事会／監事・事務局	原則偶数月第2火曜(6/12、8/14、10/9、12/11、2/12、4/9) ▲	▲	▲	▲	
9	情報公開(ホームページ)	事務局／委託会社	適宜実施				ホームページの改訂を行う。

[第8号議案] 平成30年度予算

収入の部

※税込金額[単位:円]

項目	前年度予算	当年度予算	増減	摘要
繰越金	950,154	637,503	▲ 312,651	平成29年度繰越金
年会費	510,000	450,000	▲ 60,000	@30,000円/年・社 × 15社 退会:三菱スペース・ソフトウェア、インフォサーブ
合計	1,460,154	1,087,503	▲ 372,651	

支出の部

※税込金額[単位:円]

項目	前年度予算	当年度予算	増減	摘要
作業部会活動費	250,000	150,000	▲ 100,000	@5万円×3作業部会
作業部会活動予備費	100,000	100,000	0	活動に応じて支給
交通費	100,000	80,000	▲ 20,000	調査・会議等出席のための交通費
定期講演会費	150,000	120,000	▲ 30,000	講師謝礼 30,000円×3名×1回、交通費30,000円
勉強会運営費	90,000	90,000	0	講師謝礼 30,000円×2名×1回、交通費30,000円
会議運営費	60,000	55,000	▲ 5,000	講演会、勉強会の会場設営費
広告・広報費 (webサイト維持・改訂・管理費)	100,000	250,000	150,000	展示会出展、活動成果配布他 H30.06～H31.05(12箇月間)、ドメイン維持費を含む webサイト改訂費用を含む
(webサイト維持・改訂・管理費)	500,000	-	-	※H30は広告・広報費に含めた
雑費	15,000	5,000	▲ 10,000	全体会合時の懇親会費差額補助等
印刷費(コピー代等)	30,000	20,000	▲ 10,000	案内、展示会ポスター印刷他
通信・輸送費	5,000	3,000	▲ 2,000	封筒、切手代
振込手数料	3,000	3,000	0	雑誌代振込みなど
合計	1,403,000	876,000	▲ 527,000	

収入合計 1,460,154 1,087,503

支出合計 1,403,000 876,000

次年度繰越金 57,154 211,503